

## 2 安定した雇用を創出する

- 和歌山県の有効求人倍率は上昇傾向にあるものの、景気動向は依然として厳しい状況
- ICT技術の進展や経済のグローバル化など、産業に大きく影響を及ぼす社会構造の変化

県内産業がたくましい力を獲得し、雇用を確保することが必要

### 県内全ての産業において生産性・収益性を高めるための取組を推進

#### 中小企業 振興

##### 課題

- 市場の縮小と競争の激化
- 成長するICT産業への対応

##### 新政策

- 県産品の魅力向上と販売手法の強化（P14）
- ICT企業の誘致推進（P17）

#### 農林水産 振興

##### 課題

- 農業における低い労働生産性
- 漁獲量の減少、魚価の低迷

##### 新政策

- ICT等を活用した生産性の向上（P18）
- 漁業経営構造改革の推進（P21）

#### 観光振興

##### 課題

- 観光客の嗜好・ニーズの多様化
- 増加する外国人観光客のさらなる誘客

##### 新政策

- わかやま歴史物語（P23）
- インバウンド観光戦略（P24）

#### 産業基盤 の強化

##### 課題

- 飛躍的に増大するデータの利活用が不十分

##### 新政策

- あらゆる分野におけるデータ利活用促進（P26）

## 2 安定した雇用を創出する

平成29年度 **1,057億円** (平成28年度 1,044億円 +12.7億円)

<b>中小企業振興</b>	<p>H28 878.7億円 ↓ <b>H29 894.2億円</b> (+15.5億円)</p>	<p><b>増</b> 企業誘致の促進 (+1.4億円) ➤ 中小企業融資制度の新規融資枠 900億円を維持</p>
<b>農林水産振興</b>	<p>H28 163.2億円 ↓ <b>H29 158.2億円</b> (▲5.0億円)</p>	<p><b>減</b> 生産振興施設・設備の整備事業費減 (▲5.3億円) <b>増</b> 水産業の活性化 (+1.0億円)</p>
<b>観光振興</b>	<p>H28 6.2億円※ ↓ <b>H29 8.3億円</b> (+2.0億円)</p>	<p><b>増</b> 歴史・文化を活用した誘客促進 (+0.9億円) ※ 地方創生交付金(H27補正)を含めたH28事業費は8.1億円</p>

## 2 安定した雇用を創出する

◆新規 ◇拡充 ◇継続

・金額単位のないものは千円単位  
・( )内は昨年度当初予算額

### 県内企業の成長力強化

#### ①中小企業の競争力強化

◆中小企業販売力強化 9,691 (-) P14

県産品のブランド力向上と国内外での商取引拡大のため、百貨店との協働による販売促進と、EC(電子商取引)市場での競争力を強化

◆事業承継サポート 718[成長サポート資金融資枠25億円] (-) P15

円滑な事業承継を促進するため、専門家によるサポート体制を整備するとともに、優遇金利による事業承継融資制度を新設

◆中小企業 省エネ対策促進 15,263 (-) P16

中小企業・小規模事業者の省エネ対策を促進するため、省エネ設備の導入や熱損失対策などの効果的な省エネ改修を支援

#### ②新産業の創出

◆ICT和歌山推進 78,080 (-) P17

ICT企業の紀南地域への集積を図るため、新たな企業誘致拠点を整備するとともに、誘致企業の人材確保を支援

◇あやの台北部用地開発 79,289 (20,000)

県内への企業立地を促進するため、「あやの台北部用地」の環境影響評価等について、事業主体である橋本市を支援

◇オープンラボを活用した県内企業の技術力強化 20,064 (10,917)

工業技術センターのオープンラボの活用により、県内企業の成長に必要と考えられる技術開発を支援し、ニッチトップ企業、コネクターハブ企業を育成

◇わかやまスタートアップ創出 4,998 (-)

県経済をけん引する新たな担い手を育成するため、ベンチャーキャピタル等から構成される「スタートアップ創出支援チーム」により優秀なビジネスプランをもつ創業者、第二創業者を支援

#### ③地域経済の持続的発展

◆わかやま元気シニア生きがいバンク 15,518 (-) P33

80歳現役社会を実現するため、ボランティア、NPO活動など社会参加を希望する高齢者の人材バンクを整備

◆和歌山再就職支援「就活サイクル」プロジェクト【再掲】

34,922 (-) P35

結婚・出産で離職した女性等の再就職を支援するため、企業との協働による和歌山独自の就活サイクルを構築するとともに、就職相談の体制を充実

### たくましい農林水産業の創出

#### ①産地の競争力向上

◇ロボット・ICTを活用した“スマート農業”プロジェクト

442,626の内数(327,020の内数) P18

農作業の省力化や農作物の品質向上等のため、ロボットやICTなど先端機器の導入を支援

◇学校給食での和歌山産品利用拡大プロジェクト

55,093 (18,163) P19

学校給食における県産農水産物の利用拡大を図るため、安定した供給体制を確立

◆家畜堆肥利用体制の構築 2,100 (-) P20

県内産堆肥の流通円滑化を図るため、畜産農家と耕種農家とのマッチングによる地域内堆肥流通システムを構築

◇果樹産地の強化 146,111 (-)

高品質果実の生産や流通のための施設整備、新戦略商品開発などを総合的に支援するとともに、厳選出荷により和歌山みかんの市場評価を高め、果樹産地の競争力を強化

◇県産食材のブランド力向上 21,898 (22,150)

大手企業商品とのコラボによる新商品開発やJAグループ和歌山との連携によるPR、イメージキャラクター等を活用した「おいしい!健康わかやま」の発信等、県産食材のブランドイメージを定着させる取組を実施

◇農作物鳥獣害防止総合対策 450,794 (416,810)

野生鳥獣による農作物被害に抜本的に対処するため、有害鳥獣捕獲対策に取り組むとともに、狩猟者等の人材育成支援なども併せた総合的な対策を推進

## 2 安定した雇用を創出する

◆新規 ◇拡充 ◇継続

・金額単位のないものは千円単位  
・( )内は昨年度当初予算額

### ②森林・林業の再生

#### ◇森林・林業総合戦略

素材生産量目標を達成するため、経済林と環境林のゾーニングを行い、選択と集中による投資を強化

#### ◆花粉症対策苗生産基盤整備 9,000 (-)

全国的にスギ花粉症対策苗の需要が高まる中、供給拡大のため、県外への供給も視野に入れて母樹林を整備

### ③水産業の活性化

#### ◆漁業経営構造改革の推進 12,850 (-) P21

時代の変化に対応できる収益性の高い水産業を創出するため、漁業者グループによる複合経営や経営統合による複船経営を行う漁業者を支援

#### ◆南紀白浜空港を活用した県産魚の販路拡大 2,740 (-) P22

県産魚の知名度向上とブランドの確立を図るため、南紀白浜空港を活用した首都圏での販路拡大を推進

### ④新分野への展開

#### ◇グリーンツーリズム・ブルーツーリズム推進 23,510 (2,891)

農林水産業と観光業を融合したグリーンツーリズム・ブルーツーリズムを推進するため、地域が主体となって進める体験・交流施設等の整備や情報発信活動等を支援

### ⑤優れた経営感覚をもつ人材の育成

#### ◇新生 農林大学校 47,627 (14,548)

優れた経営感覚をもつ農業者や林業者を育成するため、平成29年4月に農学部アグリビジネス学科と林業研修部林業経営コースを新設

## 観光の振興

### ①和歌山の魅力を磨く

#### ◆わかやま歴史物語 27,800 (-) P23

新たな顧客の獲得と滞在時間の延長のため、歴史・文化をテーマに、観光素材の発掘・磨き上げを行い、「100の旅モデル」として発信

#### ◆滞在型周遊ルートの構築 54,000 (-) P70

熊野地域を訪れる観光客の滞在の長期化を図るため、新たな見どころの創出や受入体制の整備に取り組み、周遊拡大につながる滞在型周遊ルートを構築

#### ◆サイクリング王国わかやま 31,515 (-) P71

地域の魅力を満喫できる周遊ルートのサイクリング環境を充実し、「サイクリング王国わかやま」を全国に発信

#### ◇サイクリングロードの整備 711,945 (268,675)

観光振興及び地域活性化を図るため、安全で快適なサイクリングロードを整備

### ②和歌山へ招く

#### ◆インバウンド観光戦略 15,000 (-) P24

外国人富裕層の誘客や個人旅行客の長期滞在等による消費拡大をめざし、ドイツ・イスラエル等の新規市場や欧米豪の富裕層など、ターゲットに合わせたプロモーションを展開

#### ◆クルーズ客船の寄港促進 105,200 (-) P66

大型クルーズ客船を誘致するため、施設改良や受入環境整備を進めるとともに誘致活動を強化

### ③和歌山でもてなす

#### ◆インバウンド受入環境の向上 8,000 (-) P25

増加する個人で訪れる外国人観光客がストレスなく移動できるよう、交通事業者が連携した受入環境整備を促進

## 産業の発展を支えるデータの利活用

#### ◆データ利活用推進プロジェクト 19,632 (-) P26

日本のデータ利活用の拠点となることをめざし、産学官におけるデータ利活用を推進

## 中小企業販売力強化

平成29年度：9,691千円  
(新規)

県産品のブランド力向上と国内外での商取引拡大のため、  
百貨店との協働による販売促進とEC(電子商取引)市場での競争力を強化

### 百貨店との協働による販売促進

#### ① 県産品のブラッシュアップ

百貨店と県内企業が協働で「消費者に選ばれる」商品を開発

- ・百貨店目線による県産品の改良、新商品の企画
- ・他業種やデザイナーとのコラボなど

#### ② 一斉プロモーションの実施【平成30年度】

首都圏の百貨店複数店舗において和歌山県フェアを実施

**ブランド力向上・国内での販路拡大**

### EC市場での競争力強化

#### ① シンポジウム

幅広い業種のEC市場への新規参入を促進

〔 基調講演、有識者と県内EC市場参入事業者とのトークセッション など 〕

#### ② 講習会

EC市場で勝ち抜くためのスキルアップ

〔 モール（楽天、Amazon、Yahoo! など）への出店方法、海外展開の方法、ウェブデザイン、SEO対策※ など 〕

※検索結果でウェブページをより高い順位に表示させる取組

#### ③ サポート体制

ウェブデザインなど個別課題に対応できる事業者を紹介

**世界規模での商取引の拡大**

## 事業承継サポート

平成29年度：718千円（新規）  
成長サポート資金融資枠：25億円

円滑な事業承継を促進するための**サポート体制を整備**するとともに、  
事業承継向けの**融資制度を新設**

### 1 専門家によるサポート体制の整備

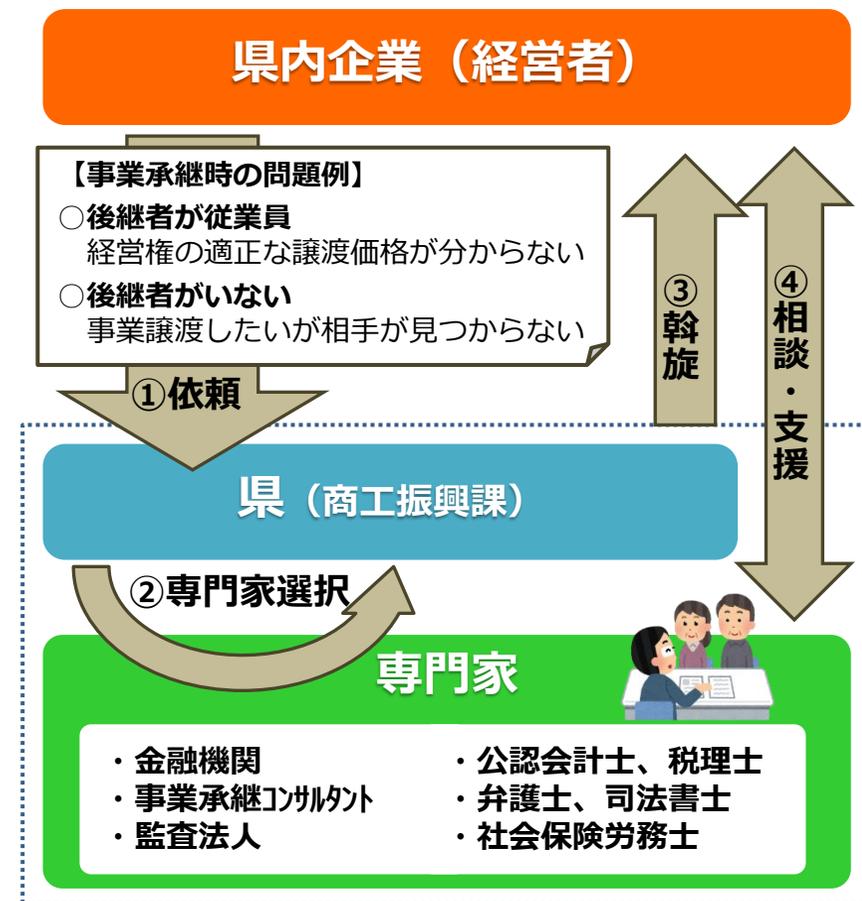
事業承継時に直面する様々な問題に適切  
に対応できる**専門家を斡旋**

### 2 事業承継融資制度の新設

事業承継計画を定めた企業に**優遇金利で  
融資**（「成長サポート資金」融資枠を活用）

### 3 セミナーの開催

事業承継対策の重要性の啓発、支援制度  
のPR



## 中小企業 省エネ対策促進

平成29年度：15,263千円  
(新規)

中小企業・小規模事業者の省エネ対策を促進するため、省エネ設備の導入や熱損失対策などの効果的な**省エネ改修を支援**

### 1 セミナー・個別相談会

省エネのメリット啓発、支援制度のPR

### 2 省エネ診断【国制度】

運用改善・設備投資の提案、年間削減量の計算など

### 3 省エネ改修の支援

投資回収年が原則3年以上で、国の補助制度の対象とならない小規模な**省エネ改修の費用を補助**

**対象** 国の「省エネ診断」で提案された設備・機器（事業費50万円以上）

**補助率** 1/3（補助上限100万円）

**条件** 耐用年数期間内におけるエネルギー削減量が、投資額100万円あたり10kl（原油換算値）以上見込めること



蒸気ドレン回収装置の改修



配管の熱損失対策

## ICT和歌山推進

平成29年度：78,080千円  
(新規)

ICT企業の紀南地域への集積を図るため、**新たな企業誘致拠点を整備する**  
とともに、**誘致企業の人材確保を支援**

### 1 新たな企業誘致拠点の整備

白浜町における「新ITビジネスオフィス」の  
整備を支援

**概要** 平草原公園管理棟の建替え

レンタルオフィス、コワーキングスペースなど

### 2 誘致企業の人材確保支援

即戦力となるICT人材確保のため、首都圏等で  
開催される転職フェアに誘致企業とともに出展



白浜町ITビジネスオフィス内観

## ロボット・ICTを活用した“スマート農業”プロジェクト

平成29年度：442,626千円の内数  
(327,020千円の内数)

農作業の省力化や農作物の品質向上等のため、ロボットやICTなど**先端機器の導入を支援**

### 1. 補助対象の拡大

既に制度化



平成29年度から制度化



市販化に応じ、順次制度化

・乗用モノレール



・ICT捕獲わな



国庫補助・県単独事業の対象

・アシストスーツ



・ドローン



県単独事業の対象に追加

・GPS自動走行トラクタ

・収穫ロボット

など

毎年度、指定して国庫補助・  
県単事業で対象とする予定

### 2. 農業用先端機器開発・導入研究

県内の園地に対応した機器の改良・開発や機器導入のための栽培管理方法の開発

**メーカーとの共同研究を順次実施**

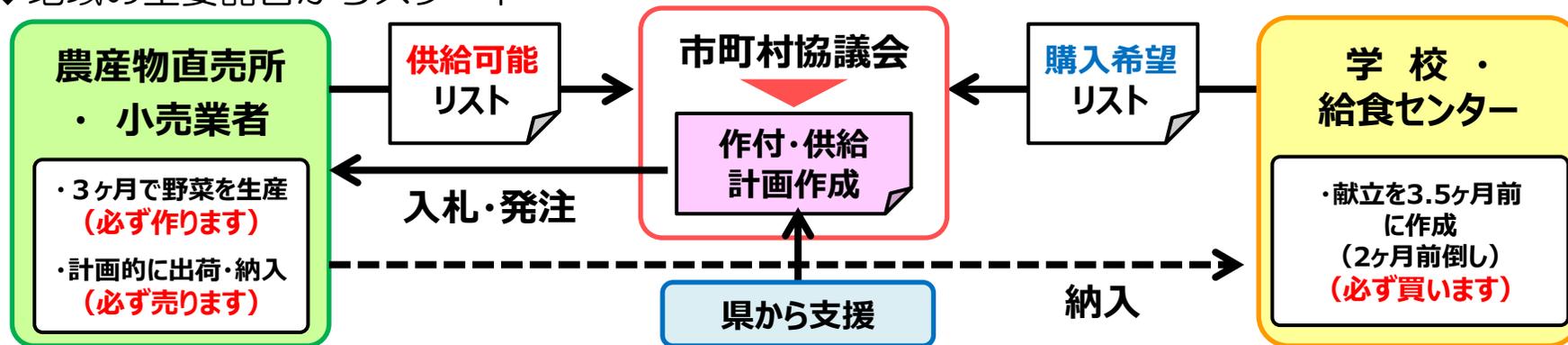
## 学校給食での和歌山産品利用拡大プロジェクト

平成29年度：55,093千円  
 (18,163千円)

### 学校給食における県産農水産物の利用拡大を図るため、 安定した供給体制を確立

#### 1. 安定した供給体制の確立 → 「必ず作ります・売ります・買います」システムの構築

◆地域の主要品目からスタート



#### 2. 利用促進に向けた取組の推進

##### ■ 県産品斡旋物資の拡大

- ・県産既存加工品の掘り起こし
- ・新規商品の開発

##### ■ 県産品・ジビエの導入支援

- ・栄養教諭等を対象とした講習会・試食会開催

##### ■ ジビエの安全・安心の理解促進

- ・リーフレット配布、研修会等での啓発

##### ■ 提供品目と対象の拡大

- ・5品目（みかん、うめ、もも、かき、魚） → 7品目（**鯨肉、ジビエを追加**）
- ・小学校・特別支援学校だけでなく**中学校**も追加（みかん、魚、鯨肉、ジビエ）



## 家畜堆肥利用体制の構築

平成29年度：2,100千円  
(新規)

### 県内産堆肥の流通円滑化を図るため、地域内堆肥流通システムを構築

#### 現 状

堆肥販売は相対取引が中心で流通体制が脆弱

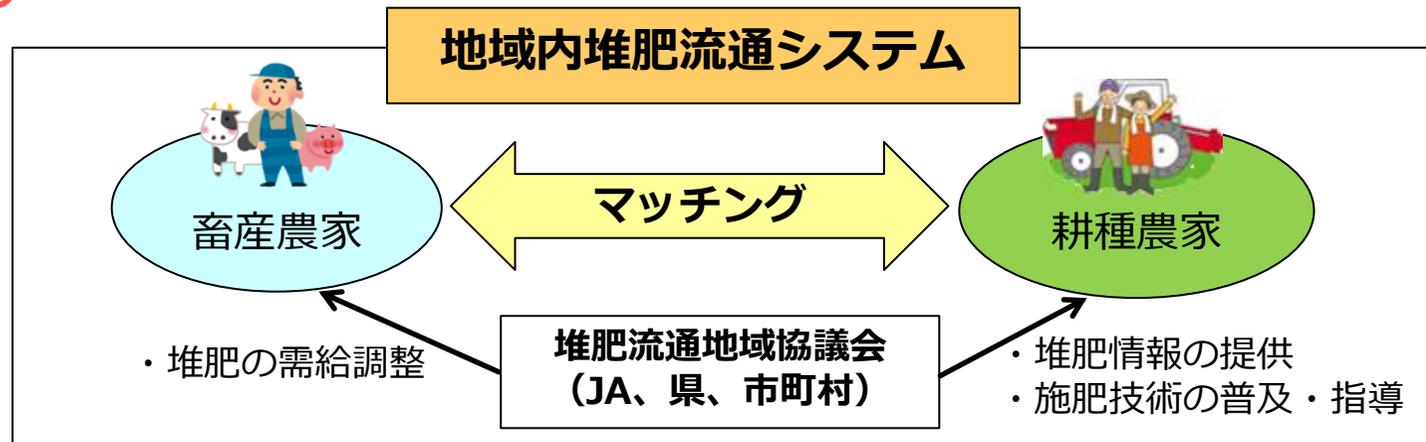
年間供給可能量  
7万t

5万t — 有償取引、自家消費

2万t — 有償で取引されていない

#### 新たな取組

堆肥流通地域協議会を設立し、**畜産農家と耕種農家をマッチング**



県内産堆肥の流通円滑化による**畜産農家の経営安定化**

## 漁業経営構造改革の推進

平成29年度：12,850千円  
(新規)

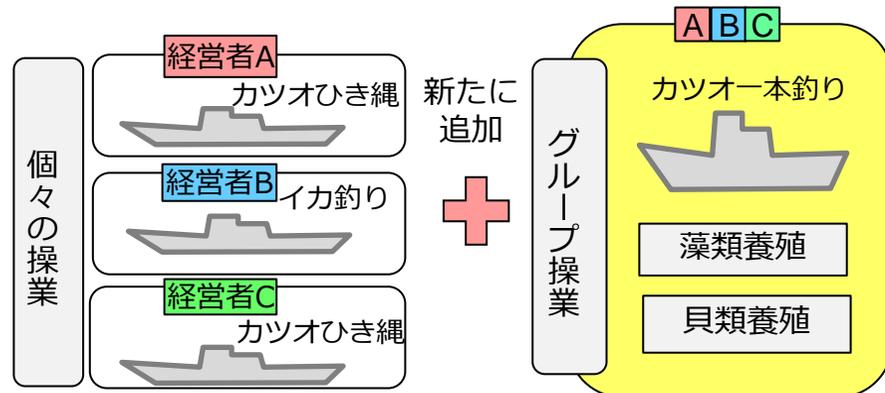
時代の変化に対応できる収益性の高い水産業を創出するため、漁業者グループによる**複合経営**や経営統合による**複船経営**を行う漁業者を支援

- 単一の漁業に依存した形態は、経営が不安定
- 不漁や燃料高騰などの一時的な経営環境の悪化による廃業リスクが高い

### 1 漁業者グループによる複合経営の推進

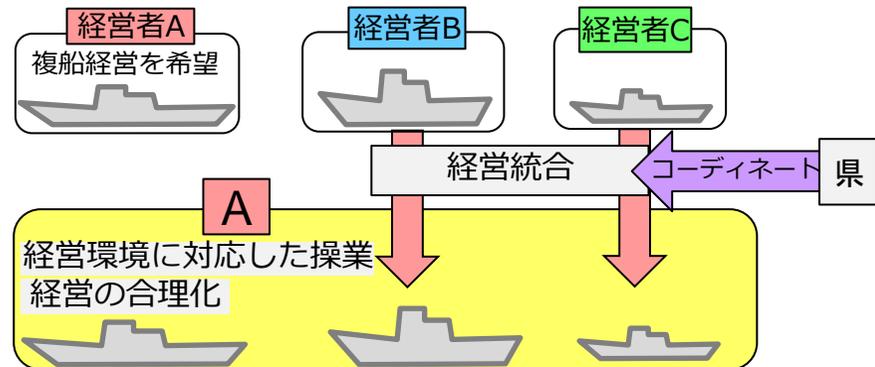
新たに必要となる漁船や養殖設備等の取得経費を漁協を通じ支援

交付先：漁業協同組合 補助率：1/2



### 2 経営統合による複船経営の推進

- ・ 「複船経営」構想の策定
- ・ 複船経営を希望する漁業者への経営統合をコーディネート



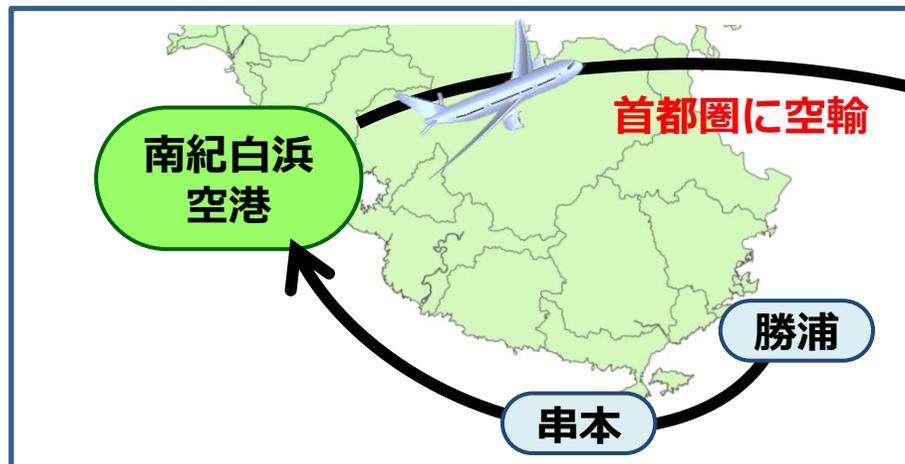
## 南紀白浜空港を活用した県産魚の販路拡大

平成29年度：2,740千円  
(新規)

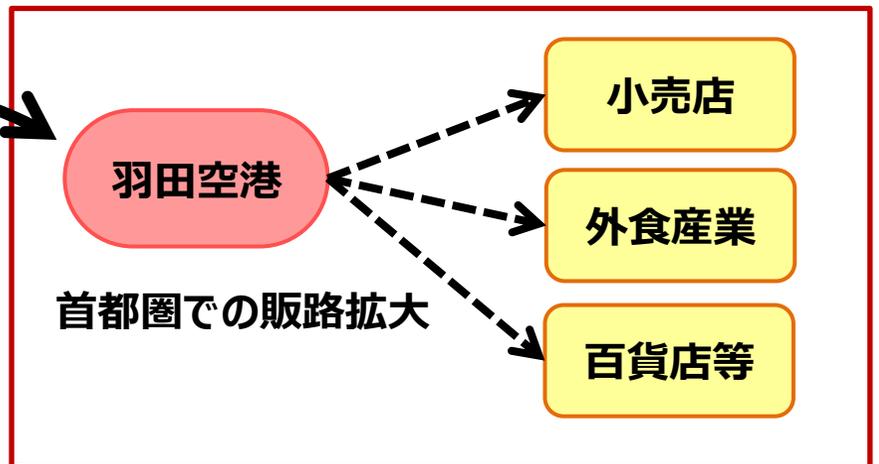
県産魚の知名度向上とブランドの確立を図るため、南紀白浜空港を活用した**首都圏での販路拡大**を推進

### 1 県漁連と一体となった首都圏での販路拡大

#### ① 南紀白浜空港までの集荷システムの構築



#### ② 首都圏での多様な販路ルートの開拓



### 2 統一した鮮度・品質の確立

- ・魚の鮮度を保つめ方講習会開催等

### 3 付加価値向上につながるストーリーづくり

- ・勝浦マグロ、紀州イサキ、梅マダイなど

## わかやま歴史物語

平成29年度：27,800千円  
(新規)

新たな顧客の獲得と滞在時間の延長のため、**歴史・文化**をテーマに、**観光素材の発掘・磨き上げ**を行い、**100の旅モデル**として発信

### 1 神話の時代から近代に至る豊富な歴史ストーリーや歴史資産を100の旅モデルとして発信

ウェブサイトの開設、各種メディア展開など

### 2 歴史資産だけでなく、人、文化、食などを含めた「わかやまの歴史の楽しみ方」を提案

旅行商品の造成のための旅行会社への提案活動など

#### 古代

##### 神武東征

～イツセノミコトと  
カムヤマトイワレビコノミコト～

日向を出発し、各地を平定してきた神武天皇の一行を待っていた厳しい苦難と試練の神話。ゆかりの地を巡る旅モデル。



#### 鎌倉時代～戦国時代

##### 根来寺

～七十二万石を誇った  
強大宗教都市～

覚鑿（かくばん）上人が高野山を離れて開いた根来寺。戦国時代には、寺領七十二万石、僧兵数万という一大共和国を作り上げた。全国に伝わった寺社建築や根来塗などのルーツを感じる旅モデル。



#### 江戸時代～近代

##### 広川のHEROに出会う旅

～濱口梧陵の功績に触れる～

安政南海地震の際、「稲むらの火」で村人を救った濱口梧陵は、広村堤防を築き、時を超えて昭和の人々を救った。広川のHEROの偉業と災害への備えを学ぶ旅モデル。



## インバウンド観光戦略

平成29年度：15,000千円  
(新規)

外国人富裕層の誘客や個人旅行客の長期滞在等による消費拡大をめざし、ターゲットに合わせたプロモーション活動を推進

### 1 富裕層の誘客促進

- 欧米豪の富裕層をターゲットとしたプロモーションの強化
- スポーツツーリズム推進

- ・ 富裕層向け旅行博覧会「ILTMカンヌ」への出展
- ・ 現地メディア・エージェントの招へい

### 2 新規市場の開拓

- ドイツやイスラエル等をターゲットとしたプロモーションの強化

誘客拡大  
長期滞在

旅行消費額  
増加



### 3 個人旅行客の長期滞在促進

- 体験型民泊の推進

インバウンド向け体験プログラムの情報発信

## インバウンド受入環境の向上

平成29年度：8,000千円  
(新規)

増加する個人で訪れる外国人観光客がストレスなく移動できるよう、交通事業者が連携した受入環境整備を促進

### 1 移動環境の改善

- 交通事業者等が連携して、エリアで共通する整備ルールに基づき、案内表示等を充実

【例】

多言語案内板、バス乗り場までの誘導表示、バス停の案内情報の充実 等

### 2 観光ルートが発信

- インバウンド対応が改善した観光ルートの情報発信

ストレスなく移動できる環境整備を促進



## データ利活用推進プロジェクト

平成29年度：19,632千円  
(新規)

### 日本のデータ利活用拠点をめざし、産学官におけるデータ利活用の推進

#### 1 統計的思考・エビデンスに基づく行政の推進

- 全国の研究者等を対象としたデータを利活用した**公募型研究**の実施

#### 2 日本のデータ利活用拠点の構築

- データ利活用**シンポジウム**の開催
- 高校生・大学生等を対象としたデータ利活用**コンペティション**の開催

#### 3 データ利活用による県内産業の活性化

- **RESAS (地域経済分析システム)** を活用した企業支援

